



# ほほえみの国から

Thai Mission News Letter No.16 ● April 2023

## 国外宣教師退任についてのご報告

主の尊い御名を賛美いたします。

国外宣教のためにとりなしのお祈りをご支援を心から感謝いたします。この度、国外宣教師を退任することになりましたのでご報告をさせていただきます。

2017年5月にバンコクでタクシーを利用した際に交通事故に遭い、首を痛めてしまいました。一ヵ月ほど通院しながら治療を受けましたが、その後首と腰のヘルニアを発症しました。しかし、軽度だったため、日常生活や働きに大きな支障はないと考えました。ところが2020年頃から、奉仕が重なった際に首と腰に強い痛みを感じるようになり、2021年12月には左手足に激しい痺れが出るようになりました。国外宣教委員会に様々な面で支えていただきましたが、働きに支障が出始めたため、検査と治療のために翌2022年6月に一時帰国をさせていただきました。精密検査の結果、腰は「腰部脊柱管狭窄症」、首については「頸椎後縦靭帯骨化症」との指定難病の診断を受けました。

タイでの働きを継続するために治療とリハビリに取り組んできましたが、当初計画していた10月のタイへの出発が治療の継続が必要なために延期となり、さらに祈っていた12月の出発についても延期せざるを得ない状況となりました。そして、治療にはさらに時間が必要であること、また任地であるタイでは保険の問題から治療を継続することが難しいことが分かりました。

主の前に祈り、家族と話し合いを重ね、このままでは宣教師としての務めを全うすることはもちろん、日常生活さえも困難な状況になりかねないことから、タイでの働きを一旦終え、治療のために日本に本帰国することを決断いたしました。

本帰国の必要を子どもたちに伝えた際には、タイに帰りたい、タイの友達に会いたいと涙を流していました。私と妻も、働きの実が結び始め、また広がり見せ始めた時であったため、大変悔しい思いであります。しかし、このことにおいても主のご計画があると信じ、示されている本帰国の道に信仰をもって歩み出したいと考えています。

今後は、4月にタイに戻り、働きをまとめ、荷物を整理し、6月に本帰国することを予定しています。本帰国後は、治療を継続しながら体のゆるす範囲で宣教報告を行わせていただき、2024年3月末日をもって教団派遣宣教師を退任することになります。

諸教会の皆様におかれましては、2016年9月の派遣当初から現在に至るまで、喜びの時も、困難な時にも、変わらない愛と宣教の情熱をもってタイ宣教を祈り支えていただき、心から感謝申し上げます。皆様のご期待とご支援に十分にお応えすることができず、またこのような形で働きを終えなければならないことを心からお詫びいたします。大変申し訳ございません。

私たち家族の今後の歩みが、主のご栄光を現わし、どこにあって主の宣教の御思いに従うものとなりますように続けてお祈りを賜うことができれば幸いです。最後に、本来であればお祈りくださった諸教会の皆さまお一人お一人に直接この度の宣教師退任のご報告を行い、感謝の思いをお伝えすべきところですが、体調がすぐれず困難なため、まずはこの書面的のご報告となりましたこととおゆるしください。今後機会をもって改めてご挨拶をさせていただければと存じます。皆様の日々の歩みの祝福を心よりお祈りしています。

在主



2023年4月  
河野 晃